

平成24年8月24日

各位

社団法人日本金型工業会東部支部  
技術委員会 委員長 鈴木 光一  
(公 印 略)

## 第40回金型関連技術発表講演会開催のお知らせ

### 今、注目すべき最新技術・熟練技能の発表 「世界で勝ち残る技術経営戦略」パネルディスカッション

新しい技術開発や熟練技能の向上に積極的な金型ならびに金型関連メーカー12社が、自社で取り組んでいる最新技術・熟練技能を発表します。

また、「世界で勝ち残る技術経営戦略」をテーマに、若手経営者によるパネルディスカッションも行います。

最新技術・熟練技能に関心のある皆様には、見逃せない、聞き逃さない講演会ですので、ぜひご参加下さい。

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は金型工業会事業に格別のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、日本金型工業会東部支部技術委員会主催の第40回金型関連技術発表講演会を下記要領で開催しますので、万障お繰り合わせのうえご出席のほどお願い申し上げます。

当日は、新しい技術開発や熟練技能の向上に積極的な金型ならびに金型関連メーカー12社が、自社で取り組んでいる最新技術や熟練技能を発表します。

また、「世界で勝ち残る技術経営戦略」をテーマに、若手経営者によるパネルディスカッションも行います。

技術の更なる研鑽向上を図り合う、不況を乗り切るヒントを提供し合う、元気が出る技術発表講演会を目指しておりますので、ぜひご参加下さい。

なお準備の都合がございますので、**参加を希望される方のみ**、別紙の参加申込書に必要事項を記入のうえ、**9月28日(金)まで**に、事務局にメール [n.suzuki@jdmia.or.jp](mailto:n.suzuki@jdmia.or.jp) あるいは FAX (03-5688-1456) でご返信のほどお願い申し上げます。

敬具

## 記

開催日時 **平成24年11月14日（水）午前10時00分～午後5時30分**  
**\* 終了後、午後5時40分～7時00分まで8階レストランで懇親会を開催します**

会 場 **五反田、ゆうぽうと 7階 重陽の間（定員180名）**  
〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-4-13 TEL：03-3490-5111  
JR「五反田駅」西口徒歩約5分、東急池上線「大崎広小路駅」徒歩約1分  
地図 <http://www.u-port.jp/access.html>

参加費 **金型工業会会員は「無料」です。また40回を記念し会員外の方も「無料（通常2万円）」とさせていただきますが、日本国内に本社機能をもたない企業は申込できません。**  
**\* 懇親会の参加費は、会員2,000円、会員外4,000円です。**  
**支払は、会員が当日現金、会員外は事前に振込です。**

そ の 他

1. 日本国内に本社が無い企業は申込できません。
2. 申込は先着順、定員（180名）で締切らせていただきます。  
定員を超えた場合のみお断りの連絡を致します。  
複数名申込可能ですが、申込状況により、参加人数の調整をさせていただきます場合がございます。  
受講票は発行しませんので、当日はそのままお越しください。
3. 昼食は参加者各自でおとりください。「ゆうぽうと」には1階と8階にレストランがございます。また近辺にも多くの飲食店がございます。

以上

内容や参加に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

問合せ先 社団法人日本金型工業会 事務局 鈴木典嗣  
東京都文京区湯島 2-33-12 金型年金会館 1階  
TEL 03-5688-1455 FAX 03-5688-1456 [n.suzuki@jdmia.or.jp](mailto:n.suzuki@jdmia.or.jp)

## 五反田・ゆうぽうと

電車でお越しの方

- ・東急池上線「大崎広小路駅」徒歩約1分
- ・都営地下鉄・JR「五反田駅」西口徒歩約5分
- ・JR「大崎駅」西口徒歩約7分

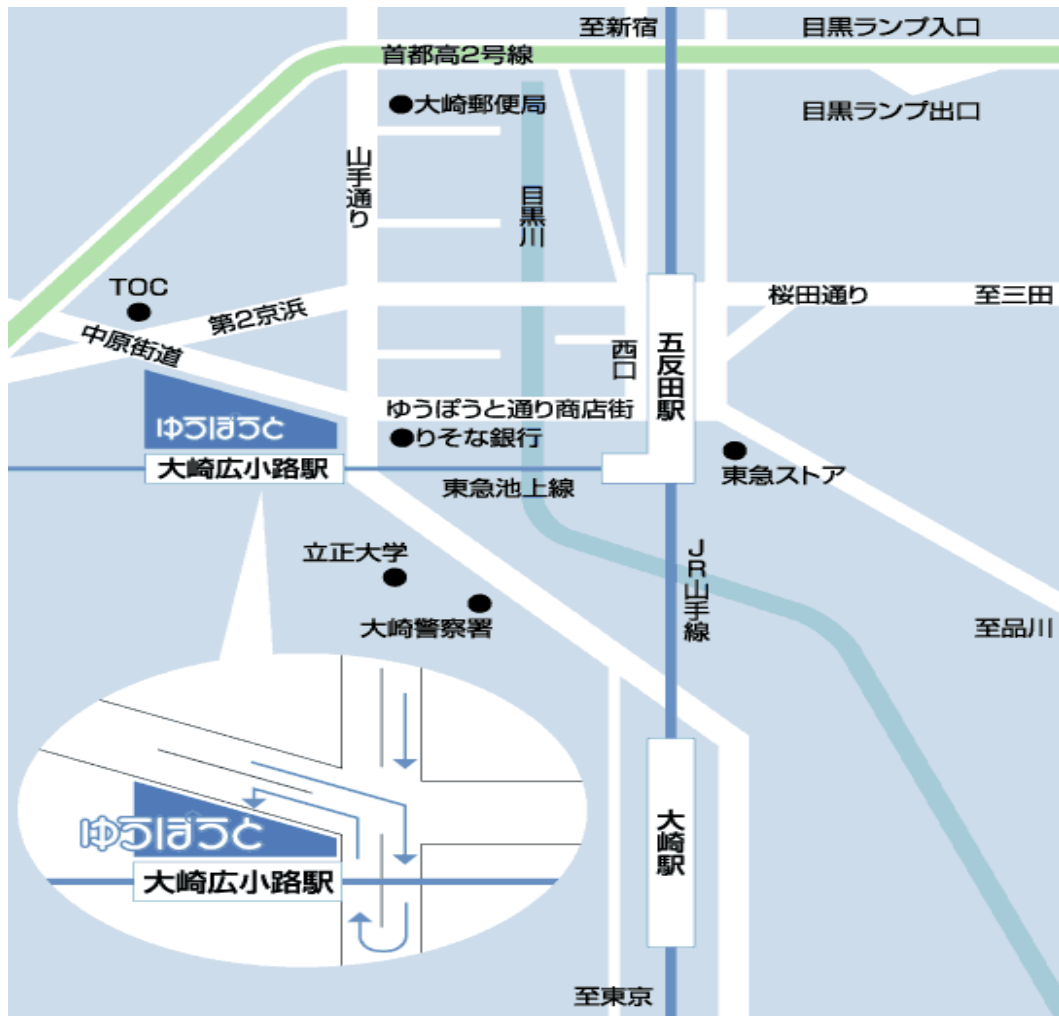
■お車でお越しの方利用の方

- ・首都高速2号線「目黒ランプ」下車約15分

(高速道路の下をそのまま直進し大崎郵便局の交差点を左折。東急電車池上線の高架下をくぐり、すぐUターンして大崎広小路交差点を左折)

駐車場 1台30分300円(収容台数146台、車高制限2.3m以下) 営業時間/6:00~24:00

※宿泊・婚礼・会議・レストラン等のご利用の方駐車場料金の割引がございます



当日のスケジュール

時間	内容	担当者
10:00～10:05	開会挨拶	鈴木 光一技術委員長
10:05～10:25	電極モデル作成時間の大幅短縮が実現!! モデルレスの電極マスター作成技術をご提案	株式会社ジェービーエム
10:25～10:45	WorkNCを活用した自動化の勧め	株式会社セスクワ
10:45～11:05	設計変更に対応できる三次元データ活用 技術のご紹介	株式会社 電通国際情報サービス
11:05～11:15	休憩	
11:15～11:35	金型業界での進化するXVL活用	ラティス・テクノロジー株式会社
11:35～11:55	金属積層造形機 EOSINT M280 の現状と金型 への適用	株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ
11:55～12:15	製造業コスト削減の切り札! 「次世代アンダー カット成形ユニット“すっぽん”」の効用	株式会社テクノクラーツ
12:15～13:10	昼食	
13:10～13:30	高精密部品・金型加工用立形マシニングセンタ MP-46V に盛り込まれた最新技術と知能化技術	オークマ株式会社
13:30～13:50	世界初、CFRPをX・Yテーブルに採用し、超高速 切削加工を可能とする次世代マシン	株式会社ソディック
13:50～14:10	プレス金型メーカー 株式会社高津製作所様におけ る取組事例紹介～生き残りをかけた、3Dデータ 基準による業務のグローバル展開～	株式会社エリジオン
14:10～14:20	休憩	
14:20～14:50	金型設計製造における業務変革の最新事例の ご紹介	株式会社インクス
14:50～15:20	サイベック流ものづくりin夢工場	株式会社サイベックコーポレーション
15:20～15:50	昭和精工株式会社で実施した「資産のリメイク PJ」の紹介とその経営効果及び日本のものづく り企業を支えてきた熟練技能の再認識について	昭和精工株式会社
15:50～16:00	休憩	
16:00～17:30	パネルディスカッション テーマ:「世界で勝ち残る技術経営戦略」 世界で勝ち残るのに必要な技術とは? ターゲットとなる市場は…国内かグローバル か? ビジネスモデルは…金型専業か脱金型専業 か?	司会: 岩壁清行(株式会社日本デザインエンジニアリング 代表取締役社長) パネラー: (1)株式会社打田製作所 打田尚道社長 (2)樫山金型工業株式会社 樫山剛士社長 (3)株式会社クライム・ワークス 山口誠二社長 (4)株式会社チバダイス 千葉英樹社長 (5)株式会社明輝 黒柳智太郎専務
17:30	閉会	
17:40～19:00	懇親会(8階レストランで希望者のみ)	

## 当日の発表内容

10:00～ 10:05	開会挨拶 鈴木 光一技術委員長(マルスン株式会社 代表取締役)
10:05～ 10:25	プログラム① <b>テーマ：「電極モデル作成時間の大幅短縮が実現!! モデルレスの電極マスター作成技術をご提案」</b> <b>発表者：株式会社ジェービーエム 新商品開発事業部部長 林 充</b> 内容：当社から放電加工に必要な電極モデル作成の煩わしさを解消する新技術をご提案致します。電極モデル作成時に必要な揺動パターンに合わせた CAD モデルの修正を行わずに、NC データから揺動代を自動で調整する機能を NC データ最適化ソフトの GTANG に搭載致しました。切削加工現場に GTANG の技術が加われば既存設備を有効活用しリードタイム短縮が実現する旨をご説明致します。
10:25～ 10:45	プログラム② <b>テーマ：「WorkNC を活用した自動化の勧め」</b> <b>発表者：株式会社セスクワ 技術部 三井龍介</b> 内容：WorkNC は Automatic CAD/CAM システムです。様々な自動化機能を標準搭載しており、そのコアとなるデータベースも独自の構造となっています。今回は更なる自動化を目指す一環として、WorkNC による加工情報の一元管理方法についてご紹介致します。今回の発表では以下の項目を予定しています。 ・加工情報一元管理の必要性 ・WorkNC で一元管理可能な加工情報範囲 ・管理者・作業者にとってメリットがある一元管理方法とは ・加工情報一元管理の事例とそのメリット ・今後の課題
10:45～ 11:05	プログラム③ <b>テーマ：「設計変更に対応できる三次元データ活用技術のご紹介」</b> <b>発表者：株式会社 電通国際情報サービス グループリーダー 山本 克</b> 内容：製品設計データが変更された際に発生する金型の設計変更に対して三次元データを使って効率的に対応出来る最新のソフトウェア技術をご紹介します。 ・設計変更履歴の管理 ・設計変更箇所の差分確認 ・異機種 CAD 間データ変換 ・形状簡略化処理 ・製品データを用いた生産要件の自動チェック また、海外の拠点や工場へ三次元データを送信する際にポイントとなるデータ配信、セキュリティのソフトウェアをご紹介します。
11:05～ 11:15	休憩

<p>11:15～ 11:35</p>	<p>プログラム④  <b>テーマ：「金型業界での進化するXVL活用」</b>  <b>発表者：ラティス・テクノロジー株式会社</b>  <b>技術コンサルティング本部 スーパーバイザー</b>  <b>神宮路 勝</b></p> <p>内容：三次元化が進む金型業界において、XVLの活用は図面レス化推進の重要な役割を担っている。さらに、モバイルデバイスを活用した新たな三次元データ活用による業務改革が進みつつある。金型業界での先進的な活用事例とともにモバイルデバイスと3Dデータの業務適用法を紹介する。</p>
<p>11:35～ 11:55</p>	<p>プログラム⑤  <b>テーマ：「金属積層造形機 EOSINT M280 の現状と金型への適用」</b>  <b>発表者：株式会社NTT データエンジニアリングシステムズ</b>  <b>製造ソリューション事業本部 AMソリューション部</b>  <b>技術推進グループ 樋口官男</b></p> <p>内容：金属積層造形機のマーケットリーダーであるドイツEOS社製のレーザー焼結型金属積層造形装置“EOSINT M280”の現況と金型への適用を、事例を交えてご紹介いたします。従来は試作金型を迅速に作るという目的での利用が大半であった金属積層造形技術ですが、その技術、材料の進化により造形品の品質が一般的な金型用鋼材と遜色ないレベルまで向上し、現在では量産型製作への応用が進んでいます。特に、金属積層造形法が得意とする3次元水管を備えた金型作成にフォーカスし、その応用事例をご紹介いたします。</p>
<p>11:55～ 12:15</p>	<p>プログラム⑥  <b>テーマ：「製造業コスト削減の切り札！</b>  <b>「次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”の効用」</b>  <b>発表者：株式会社テクノクラーツ</b>  <b>代表取締役 反本正典</b></p> <p>内容：”すっぽん”は、従来成形できなかったアンダーカット形状が簡単に成形でき、かつ、金型および成形品の品質と、生産効率を大幅に向上させる優れた特性を有する装置です。この装置は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金型の設計工数の削減</li> <li>・ 金型の加工工数の大幅な削減と納期短縮</li> <li>・ 成形サイクルの短縮</li> <li>・ 金型の大幅な小型化が実現</li> <li>・ 金型の小型化に伴う小型成形機適用可能化による成形費用低廉化</li> <li>・ 成形品形状の自由度が拡大</li> </ul> <p>に威力を発揮し、従来の金型・成形において行き詰まっているコスト低減要望に対する解決の切り札です。講演会当日は、動画を使用して、”すっぽん”の金型・成形における上記の効果を示します。また、”すっぽん”の実機を持参し、ご出席者の皆さまに、”すっぽん”の堅牢な構造と優れた摺動性をお手に取ってご確認いただけます。我が国の金型によるものづくりの国際競争力の蘇生を強く願います。</p>
<p>12:15～ 13:10</p>	<p>昼 食</p>

<p>13:10～ 13:30</p>	<p>プログラム⑦  <b>テーマ：「高精密部品・金型加工用立形マシニングセンタ MP-46V  に盛り込まれた最新技術と知能化技術」</b>  <b>発表者：オークマ株式会社</b>  <b>可児技術部 可児営業技術課 副参事 川崎浩二</b>  内容：グローバル規模でますます競争が激化している中、金型業界においても競争力を維持するためには、常に生産性を向上し続けることが不可欠である。それを具現化すべく、当社が開発したのが大幅な加工時間短縮と高い加工面品位で金型の高生産性を実現する“MP-46V”である。当機に盛り込まれた技術と加工事例を紹介し、とりわけ一般環境下でも安定した精度を維持する「サーモフレンドリーコンセプト」と、工具の能力を最大限に発揮すべくサポートする「加工ナビ」についても合わせて紹介する。</p>
<p>13:30～ 13:50</p>	<p>プログラム⑧  <b>テーマ：「世界初、CFRPをX・Yテーブルに採用し、超高速切削加工を可能とする次世代マシン」</b>  <b>発表者：株式会社ソディック</b>  <b>営業推進室 室長 澤崎 隆</b>  内容：リニアモータ駆動超高速マシニングセンタ「TT1-400A」は、超高速切削加工を実現し、更なる加工効率の向上と、低コストで安定した大量生産を支援する次世代マシンとして開発・商品化を行った。この「TT1-400A」は、世界初の、X・Yテーブルに自社製CFRP（カーボン繊維強化プラスチック）を採用し、従来比1/100の超軽量化と、従来比1/5～1/15の極薄化によるイナーシャの極小化を実現し、リニアモータ駆動との相乗効果により、変形を伴わずに、高い加速度で、高速なテーブル軸動作が可能である。また、リニアスケールと工作物との距離を近づけることによる誤差の少ない高精度な位置決めと、最高回転数40,000min<sup>-1</sup>の高剛性な主軸による高品位な面質が可能である。自社新開発のNC装置を搭載し、独自の先行制御などの、ハイレベルなモーション制御技術を確立することで、高加速度特性を実現した。</p>

<p>13:50～ 14:10</p>	<p>プログラム⑨  <b>テーマ：「プレス金型メーカー 株式会社高津製作所様における  取組事例紹介  ～生き残りをかけた、3D データ基準による業務の  グローバル展開～」</b>  <b>発表者：株式会社エリジオン  マーケティング 稲見 理</b>  内容：OEM メーカーの地産地消の動きに合わせて、金型メーカーでも生産拠点の海外移転が進んでいる。しかし、海外進出した金型メーカーの多くが成功している訳ではない。文化の差などが要因で中々うまく行かないのが実情である。海外進出を成功させるにはいくつかの要因があるが、その一つとして日本と同一品質の製品を供給するために、業務を標準化し展開することが挙げられる。本発表では、海外へ日本の標準を展開する際に3Dデータを武器（手段）とすることを提案し、その成功事例としてプレス金型メーカー 株式会社高津製作所様との取組事例を紹介する。具体的な技術/ノウハウの紹介としては、①最新データ変換技術、②最新形状処理技術、③3Dデータ活用の視点から見た業務の標準化事例、④海外展開に関する活動事例などを考えている。キーワード：グローバル展開、標準化、図面レス（データ基準の業務フロー）</p>
<p>14:10～ 14:20</p>	<p>休憩</p>
<p>14:20～ 14:50</p>	<p>プログラム⑩  <b>テーマ：「金型設計製造における業務変革の最新事例のご紹介」</b>  <b>発表者：株式会社インクス  ソリューション事業部パートナー 猪俣 孝</b>  内容：株式会社インクスグループは、製品設計支援事業、試作事業、金型エンジニアリング事業、および、製造業を主な顧客とした開発業務変革の支援事業を行っております。これまで数多くの業務変革プロジェクトを実施してきた中で、今回は、最近の金型設計/製造における活動で特に効果の大きかった最新事例を方法論とともに紹介いたします。皆様の業務変革のヒントとしていただけましたら幸いです。</p>



<p>14:50～ 15:20</p>	<p>プログラム⑪  <b>テーマ：「サイベック流ものづくり in 夢工場」</b>  <b>発表者：株式会社サイベックコーポレーション</b>  <b>VT研究所 平林正貴</b></p> <p>内容：2012年9月、信州の北アルプスを一望できる塩尻市にサイベックは新工場（夢工場）を構えた。サイベックの技術はCFP工法（Cold Forging Progressive）と呼ばれる高付加価値なプレス加工技術である。CFP工法により複雑精巧な金属部品をハイスピードで安価に生産できる方法を実現している。そして夢工場の設立により、CFP工法に更なる磨きをかける。夢工場は、地下工場と地上工場の2棟を兼ね揃えており、地上から11mm下にある地下工場ではCFP工法の基となる超精密金型を製作する。地下工場は地熱により年中温度変化が少なく安定した恒温環境下をつくるという点や、また地上等で発生する振動を抑えられるという点で、超精密金型をつくる上で非常に恵まれた環境である。この環境下で超精密金型製作を徹底的に追及していく。また地上工場は共同開発したプレス機・工作機械を並べ、プレス加工技術の探求・開発を進めていく。今後はこの夢工場を舞台にサイベック流ものづくりを発信していく。</p>
<p>15:20～ 15:50</p>	<p>プログラム⑫  <b>テーマ：「昭和精工株式会社で実施した「資産のリメイクPJ」の紹介とその経営効果及び日本のものづくり企業を支えてきた熟練技能の再認識について」</b>  <b>発表者：昭和精工株式会社</b>  <b>経営総務部 部長 熊谷智也</b></p> <p>内容：「人的資産」「物理資産」「費用」の3つの視点からバランス・最適化・合理化を図り、売上高12億円（平成22年9月）から売上高14億円（平成23年9月）に増加しているにもかかわらず、年間6,500万円の一般経費削減（次年後以降も継続削減できる）を達成して黒字転換に大きく貢献した「資産のリメイクプロジェクト」をご紹介します。工作機器の最適化と工場の集約による減価償却費削減や経費削減、税金削減、電気料金年間25%削減（1,000万円強）など幅広い効果を生んでいます。また、工場集約による人の導線の改善、コミュニケーション向上などの効果も出ています。また、このプロジェクトを実施するにあたり、日本のものづくり企業を支えてきた熟練技能の再認識したことにつきましてもご紹介いたします。（熟練技術のフリースと電子化のマシニングセンタはどちらが効率的かなど）</p>
<p>15:50～ 16:00</p>	<p>休憩</p>

<p>16:00～ 17:30</p>	<p>プログラム⑬  <b>パネルディスカッション</b>  <b>テーマ：「世界で勝ち残る技術経営戦略」</b>  <b>世界で勝ち残るのに必要な技術とは？</b>  <b>ターゲットとなる市場は…国内かグローバルか？</b>  <b>ビジネスモデルは…金型専業か脱金型専業か？</b></p> <p><b>司会：岩壁清行（株式会社日本デザインエンジニアリング 代表取締役社長）</b></p> <p><b>パネラー：</b>（1）株式会社打田製作所                      打田尚道社長  （2）樫山金型工業株式会社                      樫山剛士社長  （3）株式会社クライム・ワークス                      山口誠二社長  （4）株式会社チバダイス                      千葉英樹社長  （5）株式会社明輝                      黒柳智太郎専務</p>
<p>17:30</p>	<p>閉会</p>
<p>17:40～ 19:00</p>	<p>懇親会（8階レストランで希望者のみ）</p>

以上

社団法人日本金型工業会東部支部 第40回金型関連技術発表講演会 参加申込書

メール [n.suzuki@jdmia.or.jp](mailto:n.suzuki@jdmia.or.jp) FAX 03-5688-1456

**\* 参加されない方は返信の必要はございません**

平成24年11月14日（水）五反田・ゆうぽうとで開催する  
「第40回金型関連技術発表講演会」に

\* 下記のどちらか該当する（ ）内に○印を付けてご返信ください。

（ ） 講演会・懇親会の両方に参加します

（ ） 講演会のみ参加します

会社名

参加者役職・氏名（複数名申込可能ですが、調整させていただく場合がございます）

連絡先住所・TEL・FAX・E-MAIL：

連絡欄（パネルディスカッションで聞きたいことがありましたらお書き下さい）